

## 【エリアの特性】

## ＜自然＞

**河川や水路が流れる田園風景を活かすまち**

エリア西側を古川が、東側を寝屋川が、そして寝屋川に平行して友呂岐水路が流れています。友呂岐水路沿い連なる友呂岐緑地は、高木樹や桜並木があり、春は桜の名所となっています。また、東神田町付近には、生産緑地が残されています。

この他、寝屋川第九水路や神田第一、第二水路が流れ、改修された水路が神田地区の水田の中を通るなど、河川や水路が流れる田園風景を活かすことができるまちです。

## ＜歴史・文化＞

**密度の高い市街地の中に旧集落地の残るまち**

上神田一丁目には、通称「千年楠（大阪府指定天然記念物）」と呼ばれる大楠をはじめ、保存樹（楠木4本、イチョウ1本）がある神田天満宮の立派な社寺林があります。

また、神田地区は、東に寝屋川、西に古川が流れ、かつては水害も多く、囲い堤防が造られたり、その中の高低差を無くす耕地整理が行われています。このような歴史を有する神田地区では、住宅が密集する中に、上神田や中神田、下神田などの旧集落地が昔の面影を残しています。

## ＜人工・都市＞

**友呂岐緑地と田園風景を活かすまち**

萱島駅の北側に位置し、駅に近い利便性の良いエリアですが、田園風景が広がり、友呂岐緑地が連なるなど、豊かな緑があります。エリア内には、流域下水道萱島中継ポンプ場や第五中学校、神田小学校があり、御幸西地区の府営住宅も建て替えられています。また、エリア北側境界部を東西に（都）梅が丘黒原線が通り、沿道の活性化が期待されています。

## 景観整備の方向

**水の歴史を未来につなぐ市の南玄関のまち**

## 景観形成の基本目標

## 景観形成に向けた誘導基本方針

## ＜自然＞

● エリアの東側を流れる寝屋川や友呂岐水路に沿って連なる友呂岐緑地、エリアの西側を流れる古川、中央の旧集落地沿いの寝屋川第九水路や田園の中を縦横に流れ支線水路など、水と水際景観を活かすまち

- 河川、水路を活かす。
  - ・ 寝屋川や友呂岐緑地、友呂岐水路を一体にした水と緑の帯として活用
  - ・ 固有の風情を大切にし、魚の生態系にも配慮した水路の活用
  - ・ 古川の水路空間の活用

## ＜歴史・文化＞

● 寝屋川第九水路や支線水路網が縦横に流れる田園の中に位置する旧集落地や千年楠がある神田天満宮、かつては物資運搬の水路であった古川の水運などの歴史を感じることができるまち

- 固有の風情のある旧集落地、社寺、社寺林など歴史的資源を大切にす。
  - ・ この地に残る歴史資源の活用による歴史を感じることができるまちの演出

## ＜人工・都市＞

● エリアの東側の友呂岐緑地やエリアの西側の公営住宅団地周辺道路の緑、中央部に残された生産緑地の田園風景などを活かし、市の南の玄関口として、緑豊かであるおいのあるまち

- 市の南の玄関口として緑豊かであるおいのあるまちにする。
  - ・ 生産緑地の活用
  - ・ 友呂岐緑地や住宅団地周辺道路の植栽などの緑の活用

## 景観資源と特性図



③建て替えされた御幸西町の府営住宅



### ■景観基本単位

名称	<旧集落地>上神田	<旧集落地>中神田	<旧集落地>下神田
景観整備の目標	○千年楠がある神田天満宮や旧集落地に残る古いまちなみなどを守り育てる。 ・集落地内に残る古いまちなみを大切にす。	○水郷地固有の歴史的景観を守り育てる。 ・集落地内の傾斜橋や水屋などの固有の古いまちなみを大切にす。	○鉄道駅近くの貴重な古いまちなみを大切にす。
活用する景観資源	○古いまちなみの活用 ○古いまちなみと一体となった社寺、社寺林の活用 ○回遊性の演出などによる歴史資源の活用	○傾斜橋、水屋などの固有の古いまちなみの活用 ○寝屋川第九水路や縦横に流れる水路固有の風情や水際の活用	○古いまちなみの活用 ○回遊性の演出などによる歴史資源の活用